

## 20周年記念特集

- 挨拶
- 感謝！お世話になった皆様
- 思い出のアルバム その1
- 思い出のアルバム その2

挨拶

しかはま自然観察会のらえもん  
代表 古高 利男

## のらえもん20周年を迎えて

このたび、しかはま自然観察会のらえもんは、20周年を迎えることができました。

20年間も活動を続けることができましたのは、ひとえに皆様からのあたたかいご支援・ご協力をいただいたからでした。

深く深く、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

思えば、かすかな産声を上げたのが千寿第八小学校でした。

里山で見つけたキノコ・ハチの巣・木の実を並べたり、剥製の野鳥を展示したりしたのが始まりです。3年目に、こわごわ、自然観察会らしきことを、保護者と子どもたちで始めた事を、今でも鮮明に覚えています。

鹿浜西小学校の3年間は、全校児童を対象に、毎月、鹿浜地域を歩いていました。みんなで一つのものを見て話し合うことがとても楽しかったのです。やがて、バスを利用して郊外にも出かけるようになりました。

一つの活動が終わると、次の活動のアイデアが浮かんできました。保護者と子どもたちの参加が、私の力不足を補ってくれ、次の活動へのエネルギーを与えてくれたのです。

その後の会員制になってからは、それまでに蓄積された実績と情報を駆使しながら、活動を続けて行くことができました。やがて、4つの大きな柱が出来上がってきました。

一つ目は、田んぼ体験活動です。田植え・稲刈り・新米販売・そしてしめ縄づくりです。この活動は、宅間様のご協力のもとに続けてこられました。

二つ目は、飼育活動です。カイコとサケを育てる活動をするための卵を配布してきました。この活動では、保育園の先生方のご協力たくさんいただきました。そして、園児たちの真摯な興味・関心を引き出してくれました。

三つ目は、身近な自然・情緒活動です。ハゼ釣り・篆刻・クズの籠作り・押し花遊びなどを取り入れてきました。都市農業公園をたくさん利用させてもらいました。

四つ目は、里山体験活動です。キャンプ・山登り・スキーを始め、みなかみ町藤原には八年間も通いました。そこでの古民家宿泊体験は、とても良い

思い出をつくることができました。

古民家宿泊体験は、のらえもんが一番あっていると感じました。

薪ストーブで玉ねぎの皮から煮汁を作り、そこに輪ゴムで模様をつけたハンカチを放り込んでおきます。3日目に取り出し、近くを流れる小川で水洗いします。乾燥させるために、ひもに吊しておきます。風に揺れるハンカチとその先に広がる田んぼの風景は、それはそれは美しいものでした。そうして、乾くまでの間、裏山の雨呼山にハイキングです。また、体育館で遊んだ帰り道、田んぼにはホテルが乱舞し天空には無数の星がまたたいていました。

子どもたちの成長には、目を見張るものがありました。初めてのスキーでは、ほとんどの子どもたちはリフトにさえ乗れない状態でした。3年目にはみんな乗れるようになり、今ではゲレンデに着くとみんないなくなってしまう。大人が弱音をはく中、6時間もかけて富士山に登ったこと。へビをつかまえどくろを巻かせて手に持っていたことなど……。

大人が「できるかな？」と心配することでも、子どもたちの大胆な行為がその心配を吹き飛ばしてくれるのでした。子どもたちの様々な発想が、新しい可能性と人の和を生み出してくれることが度々でした。

のらえもん20年の歩みは、会員の皆様の成果でもあります。会員の皆様が親子で参加してくれたからこそ、20年間続き、共に成長・発展できたのでした。

最大の貢献者は、大自然でした。四季折々の多様な自然の姿が、私たちを導き・癒し・心の壁を低くさせながら、「人と自然とは友だちですよ」と教えてくれました。

のらえもんは、大自然と会員の皆様によってつくられてきたのです。

ありがとうございました、大自然。

ありがとうございました、会員の皆様。

今後も、20年間の歩みで培ったプログラムを生かしながら、未来の担い手である子どもたちを、保護者の皆様と共に支援し続けていきたいと思えます。

のらえもんは、これからも未来に希望を託して歩んでいきます。

感謝！お世話になった皆様！

お世話になった皆様！	ご支援いただいたこと
大自然	自然という環境があったからこそ、のらえもんは20年も活動を続けていくことができました。その間、「人だけが生きているのではないよ」と教えてくれるとともに、人と自然との交流を促し絆を深めさせてくれました。
みなかみ町藤原地域 ・ 民宿関ヶ原 様  ・ 阿部 典子 様 ・ (故) 林 ふみこ様  ・ 一畝田の古民家  ・ 森林塾青水	毎回、気持ちよく宿泊させてくれました。犬の空（クーちゃん）が待っていてくれました。 行くたびに、なにかとお世話いただきました。 押し花の特訓をしていただきました。その後、のらえもんの活動に生かせるようになりました。 一つ屋根の下の宿泊体験活動は、子どもたちや大人の交流の場として、心あたたまる空間を作り出してくれました。 藤原での活動を始めるきっかけをつくっていただき、上ノ原というすばらしい里山のフィールドを提供していただきました。
田んぼ体験 ・ 宅間農園 宅間 広 様  ・ 大生郷天満宮 様  ・ あすなろの里	田植え・稲刈り体験活動を支援していただきました。 しめ縄づくりの藁を提供してくれました。イチゴ狩りをさせていただき、みんなの大きな楽しみでした。 駐車場を利用させていただき、トイレ・社務所も利用させていただきました。 うどんづくりや芋掘りをさせていただきました。
都市農業公園および  浅羽 純一 様	のらえもんのホームグラウンドとして利用させていただきました。 浅羽様には、自然を活用したいろいろな活動を教えていただき、のらえもんの自立につながりました。
土呂部の里山 ・ 日光茅ボッチの会 飯村 孝文 様  ・ 民宿水芭蕉苑	土呂部の里山活動でお世話になりました。イタヤカエデからつくるメイプルシロップやゲンジボタルの鑑賞をとおして、里山の恵みに触れました。 いつもあたたかく迎えてくれました。参加者の親睦を深める機会にもなりました。

東京学芸大学名誉教授 佐島 群巳 様	のらえもん活動をあたたかく見守りながら、ご指導・ご助言をいただきました。
下村 庸三 様	篆刻や化石のご指導をしていただきました。
日本スキー連盟指導員 道斉 強 様	スキーのご指導をしていただきました。 子どもたちはすぐに滑れるようになりました。
宮島 征子 様	塩山で、野菜の収穫や桃狩りをさせていただきました。 新鮮な桃の美味しさを初めて知りました。
福藤 恭司 様	ハゼ釣りのご指導をしていただきました。 13回連続のご指導で、事前に川の様子を調べるなどをして、釣れるようにご配慮してくれました。
本田 真貴 様	カイコとサケの紙芝居を作ってくださいました。 毎年子どもたちの前で紙芝居をしています。保育園では、園児たちが真剣に聞いてくれました。 紙芝居は、のらえもんの宝物になっています。
千寿第八小学校	児童・保護者・教職員の皆様のご協力をいただき、のらえもんはここで産声を上げることができました。 「のらえもん」は、ここでつけられたあだ名でした。
鹿浜西小学校	開かれた学校づくり協議会の中の活動として、3年間、全校児童と保護者を対象に活動をさせていただきました。 ここでのらえもんの活動基盤ができました。
旧上沼田小学校 鹿浜五色桜小学校	活動の場を、気持ちよく提供してくれました。草木染めに使う玉ねぎの皮をたくさんとっておいてくれました。
鹿浜いきいき館	活動の場を、気持ちよく提供してくれました。
ヨツバ観光	郊外への活動のときには、安全にかつ低廉でバスを提供していただきました。 運転手さんは、みんな親切で上手でした。
菅平プリンスホテル	スキーの時の宿泊に使わせていただきました。ダボスのゲレンデに近く、温泉があり、夕食後のお楽しみ会では大広間を自由に使わせていただきました。
保育園の先生方	カイコやサケの飼育を通して、園児たちに情操教育を広めてくれました
会員の皆様	活動に参加していただき、そのことがのらえもんの持続の原動力につながりました。
スタッフの皆様	事前の準備・当日の手伝い・まとめとHPの作成などを毎回してくれました。